

Daigas グループ エネルギートランジション 2030 の策定について

2023 年 3 月 9 日
大阪ガス株式会社

Daigas グループは、エネルギーの安定供給・保安の確保とエネルギーのカーボンニュートラル化の両立を目指した取り組みを目指しており、①エネルギーの低・脱炭素化への移行に向けた道筋の全体像と、②2030 年に向けた当社グループの具体的な取り組みやお客さまにご提供できるソリューションをとりまとめた「Daigas グループ エネルギートランジション 2030」を策定しました。

当社グループは、2021 年 1 月公表の「Daigas グループ カーボンニュートラルビジョン」に掲げたガス体エネルギーの脱炭素化、電源の脱炭素化、水素ローカルネットワーク供給に向けた様々な取り組みを行ってきました。エネルギー市場におけるボラティリティ（価格変動）の増大や、エネルギーの安定供給の重要性が再認識される中、お客さまの利用特性に合わせて、国のエネルギー基本政策である S+3E^{*1}を踏まえた最適なエネルギーをご提供できるよう、新たな技術・サービス開発やサプライチェーン構築を推進しています。

今後も、再生可能エネルギー電源の拡大、火力電源のゼロ・エミッション化、都市ガス供給のカーボンニュートラル化に向けた 2030 年 e-methane^{*2}の 1%導入^{*3}、水素・アンモニア燃焼技術の開発、二酸化炭素（以下「CO₂」）バリューチェーン構築などを通じ、安定供給・保安の確保とともにエネルギートランジション（エネルギー転換期）を牽引します。

また、カーボンニュートラル実現のための技術革新・新たなサプライチェーン構築には多くの時間や社会的コストがかかることから、それまでの確実な低炭素化が重要となります。そのため、当社グループの活動を通じた社会全体への CO₂削減貢献と、当社グループにおける国内サプライチェーンの CO₂排出量削減を目指したロードマップに基づき、着実な CO₂低減を遂行していきます。

当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、多様な社会課題の解決につながる「ミライ価値」の共創に、引き続きステークホルダーの皆さまと共に取り組んでまいります。

* 1 : 安全性 (Safety)、安定供給 (Energy security)、経済効率性 (Economic efficiency)、環境性 (Environment) に基づきエネルギー供給を行うという原則

* 2 : グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタンに対して用いる呼称

* 3 : 2020 年度都市ガス販売量ベースで 6,000 万 m³/年

以 上